

間取りを見直し

快適空間を創造する暖房計画

暖気が行きわたる家

Reform Report

- ▶名取市 Kさん宅/戸建て (築19年)
- ▶家族構成/夫婦、子ども1人
- ▶工事面積/67.70㎡
- ▶工事期間/約2ヵ月
- ▶工事費用/約913万円

▶リフォーム部位
フルリフォーム

▶お問い合わせ

株式会社 ファミリ工房東北

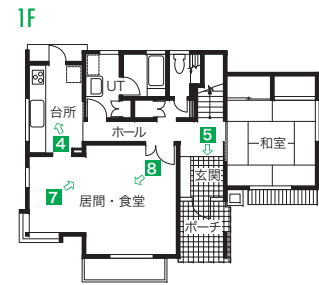
宮城県仙台市泉区南中山1丁目27-274
ハビネス南中山1F
TEL.022-739-9671
☎ 0120-146-155
<http://www.famirecoubou.ecnet.jp/>
E-mail:t-fujiki@famirecoubou.ecnet.jp

● <家づくりWEBセンター> 登録企業

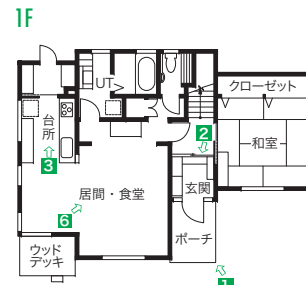
収入のライフサイクルを考え、決断しました。

最初は外観のリフォームを中心に考えていたので「今すぐでなくても…」とのんびり構えていましたが、ファミリー工房さんから定年前に完済するには早く取りかかったほうがいいとアドバイスされ、改修に踏み切りました。使えるものをうまく生かす提案や、こちらの希望に問題点があると必ず納得のいく代案を出してくれるなど、誠実な姿勢に信頼感を持ちました。新たに設けた補強壁は、美しいだけでなく震災で威力を発揮しました。(Kさん談)

BEFORE



AFTER



壁を取るという「引き算」で手に入れた広さとあたたかさ

大手ハウスメーカーで建てた築19年のKさん宅。同時期に建てられた周辺のお宅が次々とリフォームするのを見て、昨年1月頃に「うちでもそろそろかな…」と考えるようになりました。建物自体の断熱はきちんとしていましたが、気になっていたのはリビングと他の部屋との温度差。冬はリビングとホール間の扉を開けるたびにヒヤリと寒く、浴室から出るとすぐに湯冷めしてしまうなど、部屋の行き来が億劫でした。ただ使い慣れた間取りに不満はなかったため、配置を大きく変えるような提案には抵抗がありました。

そこでファミリー工房東北が提案したのは、リビングとホールを仕切る壁を取り払い、一つの空間にまとめてあたためるという「引き算」の暖房計画。メインのエアコン1台でトイレにまで暖気を行き渡らせ、広さとあたたかさを同時に実現させるというものです。加えて玄関内側に風除扉を取り付け、外からの冷気をブロックしました。

一方で「生活の質を上げる」仕上げ材にもこだわり、メープルの無垢の床板、空気触媒機能で調湿する天井材、ニオイやホルムアルデヒドなどのVOCを吸着するエコカラットタイル、珪藻土の壁などを採用。落ち着いて過ごしやすい空間を演出しました。

「絶妙のタイミングで納得のいくリフォームができました」と振り返るご主人。余分な湿気や匂いが少ない部屋は隅々まであたたかです。さらには陰影の美しい壁や無垢床の優しい肌触り、お気に入りのオーディオセットに囲まれて、五感で深呼吸する暮らしを手に入れました。



1. 外壁の色は何パターンか提案いただいた中から選びました」と奥さん
2. 風除扉にガラスを入れたのはご主人のアイデア。閉めても明るい好評
3. 奥のドアを開けると食器庫がある。中には愛着のある食器棚がびったりと収納されている
4. 改修前は窓のほうを向いたキッチン。向きを180度変えてからは家族が台所に立つ機会が増えたそう
5. 冷気がそのままホールに入ってきてしまっていた以前の玄関



6. ダウンライトの明かりが壁面の凹凸に美しい影を落とす
7. 写真中央のドア部分に補強壁を新設し、今ではさりげない目隠しにもなっている
8. ダイニングにあった出窓は掃き出し窓に変更。室内の明るさがアップし、新たにつくったウッドデッキにも出られる



既存の窓枠と新しく取り付けた棚板などの色を統一させることで、一体感が生まれたリビング。天井を補強してスピーカーを設置。時にはご夫妻でミニコンサートを楽しむことも